

⑫ 産業の創出・成長・発展と継承

20年後に実現したい姿

【世界のオンリーワン企業が輩出】

●新たに創業した企業の中から「世界のオンリーワン企業」に成長する企業が輩出されるとともに、グローバル企業、オンリーワン企業、スタートアップ企業及びそれらを支える関連企業等、多様な企業が集積しています。

【「Made in Kyoto」が世界ブランドとして確立】

●伝統技術・素材を基礎に新しい技術と素材を融合して製造する工芸品（NEO KOUGEI）など、ジャンルを超えたものづくりにより、京都製品のブランド化を進め「Made in Kyoto」が世界ブランドとして確固たる地位を確立しています。

【関西文化学術研究都市が人類的課題の解決に大きく貢献】

●関西文化学術研究都市において、トップレベルの研究者や優れたアイデア・技術が世界から集まり、新たな価値が創造される科学技術イノベーションが生み出され、人類的課題の解決に大きく貢献する都市が実現するとともに、その成果が府全域に広がっています。

【商店街が地域コミュニティの中核を構成】

●商店街が、地域経済活動の場であるだけでなく、地域の歴史・文化の情報発信、観光や地域コミュニティの場となっています。

4年間の対応方向・具体方策

京都経済センターを核として、オール京都体制で中小企業の成長やスタートアップ企業の育成を進めます。

- 1 「起業するなら京都・プロジェクト」を創設し、
 - ▷アクセラレーションプログラムの取組を推進し、世界中から有能な人材や企業が集う仕組みを構築
 - ▷多様なニーズに対応したインキュベート施設の供給
 - ▷創業支援、経営革新、販路開拓など、中小企業応援センターでのトータルサポート
 - ▷高校生を対象にした「ベンチャー講座」の開設
- 2 VR・AR技術等について、企業活動の積極的な支援や「京都VR・AR拠点」の形成
- 3 サブスクリプション(定額) ビジネス分野も見据え、地域資源を生かした京都独自のビジネス展開を「シェアリングエコノミー促進プロジェクト」として推進
- 4 オール京都の「高度人材育成プログラム」を策定し、高度人材を育成
- 5 「地域の働く場創出・育成プロジェクト」を創設し、アクセラレーションプログラムのほか、
 - ▷地域資源を生かした商品づくりや農家民宿等の仕事興し、「NEO KOUGEI」など、地場産業の成長を支援
 - ▷「子育てに優しい企業団地」の整備を促進し、企業立地を推進
- 6 京都経済センターを核に、大学や研究機関などをネットワーク化するとともに、オープンイノベーションカフェの活用等により、イノベーションが起これ続ける環境づくりを推進
- 7 小規模事業者についても、AI・IoTを活用した経営革新が進められるよう、伴走支援を実施
- 8 中高年経営者に対する事業承継セミナーの開催、創業希望者と後継者不在企業とのマッチング等事業承継の支援
- 9 「京都海外ビジネスセンター」を設立し、「Made in Kyoto」をコンセプトとしたブランド構築による輸出拡大
- 10 北部産業創造センターにおいて、デジタル支援ツールの活用などによる開発試作の高速化や新事業展開を推進
- 11 丹後・知恵のものづくりパークにおいて、VR技術を活用した研修による人材確保・育成や技術の高度化を推進
- 12 中小企業と理化学研究所等研究機関や関西文化学術研究都市に立地する企業との連携等による、中小企業の基礎研究力向上の支援
- 13 技術、組織など様々なものと繋がることで、新たな付加価値の創出をめざす「Connected Industries」を実現

- 14 「知恵の経営」実践モデル企業認証制度により、伝統産業と先端産業の融合等、日本のモデルとなる産業を育成
- 15 コンテンツ産業の育成と、「京都クロスメディアパーク推進会議」を活用した新しいビジネスの創出
- 16 留学生をモニターとした「京都産商品技術品評会」の開催
- 17 ジェトロ海外事務所等を活用し、外国企業のR&D拠点を誘致
- 18 府立図書館において、ビジネス支援等多様な生涯学習支援活動を推進

伝統産業について質の高い「NEO KOUGEI」を製造するマーケットイン型の生産を進めます。

- 19 「堀川アート&クラフトセンター（仮称）」を活用した、アート&クラフトの創造・発信の強化
- 20 「KYOTO KOUGEI WEEK」を開催し、新商品開発や商談会、工房ツアー等を実施
- 21 丹後織物関係事業者がめざす「TANGO OPEN CENTER（仮称）」の整備に向けた取組を支援
- 22 商品プロデュース力養成研修により、質の高い商品開発や商談ができる人材を育成

関西文化学術研究都市について、「研究開発・産業の推進」「文化・学術・芸術・教育の振興」等を行い、「超快適スマート社会」の実現による持続可能な発展をめざす都市づくりを進めます。

- 23 「Maas・α促進プロジェクト」を創設し、「Mobility」だけでなく、「Factory（工場）」などの分野においても、クラウドサービスを活用し、新たなビジネスを創出
- 24 「けいはんなロボット技術センター」等を活用し、新産業創出の支援を強化
- 25 AIやIoTを活用し、EVカーシェア等新たな交通システムやサービスを展開
- 26 「大阪・関西万博」の開催に合わせ、暮らしの中で文化・学術・研究の成果を感じられる機会を創出
- 27 けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）におけるオープンイノベーションの推進
- 28 関西文化学術研究都市の主要駅からの二次交通や近隣都市等とを結ぶ公共交通サービスの充実
- 29 外国人研究者との交流など、様々な学術分野の融合などを通じた新たな学術領域の創出
- 30 京大附属農場の自然エネルギー利用型農業モデルや府立大精華キャンパスのエコタイプ次世代植物工場など、グリーンイノベーションの推進
- 31 南田辺・狛田地区、木津東地区等の早期事業化を図り、研究機関や企業等の立地を推進

府内総生産を向上させるため、事業用地の確保と活力、魅力あふれた産業集積を進めます。

- 32 「京都府用地バンク」の活用や市町村と連携した土地利用計画の見直し等により、企業立地を推進
- 33 京都舞鶴港を核とした物流関連企業の誘致や、南部地域にIoT等の先端技術を活用した物流産業集積拠点を形成

地域、福祉団体、企業、大学生など多様な主体のネットワーク化により、商店街やコミュニティ等の活性化を進めます。

- 34 EコマースやAI・IoT等の先端技術の導入、高齢者・子育て家庭への支援等、独自の取組を行う商店街を支援
- 35 話題性や集客力のある店舗を商店街が自ら空き店舗に誘致する取組を支援